

【様式2】

学校関係者評価書

学校名 佐賀県立牛津高等学校

1 学校関係者評価実施状況

(1) 学校関係者評価実施日 令和5年2月13日(月)

2 評価

(1) 学校運営について

①目標の妥当性及び達成状況

取組目標については具体的な数値目標であり、かつ実現可能な目標となっており妥当であると考えます。達成状況については、設定してある数値目標を十分に達成していると考えます。地域の中で、学校全体の価値が上がるように、校長先生をはじめ先生方が一丸となって、普段の努力されている事が理解できました。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

取組内容は適切だと考えます。自己評価についても、妥当であると考えます。ただ、いくつかの項目の実施結果において、具体的な数値が表示されていないため具体性に欠ける項目がある事が残念であった。

③改善方策の適切さ

それぞれの項目において、学校全体として生徒の視点で改善に取り組んでおられることが感じられた。

(2) 教育活動について

①目標の妥当性及び達成状況

取組目標については具体的な数値目標であり、かつ実現可能な目標となっており妥当であると考えます。達成状況については、設定してある数値目標を十分に達成していると考えます。どの項目においても、生徒の視点を考えた目標が設定されており、その目標を達成するために、先生方をはじめ生徒の皆さんと一緒に努力されている事が理解できました。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

取組内容は適切だと考えます。自己評価についても、適切な評価を具体的な数値で評価されているため、妥当であると考えます。

### ③改善方策の適切さ

「学力の向上」の「共通教科の基礎学力の向上」については、4月から9月の間の第2学年の成績の下降に対して、学校としても対策を打っているようであり、令和5年4月の基礎学力の状況を見て、再度改善策等を講じてほしい。

「心の教育」の「志を高め、思いやりの心を持った他人のために働くことのできる生徒の育成」について、ボランティアへの生徒参加をさらに活性化させるためには、ボランティアの募集について、例えば友人からの誘いなどが有効と考えられるため、学校はその雰囲気づくりを行ってみてはどうか。

### 3 その他学校に対する意見や提言

○このような評価活動は県内の他の高校でも実施されていると思うが、他の高校との情報の共有は行われているか。他校の取り組みで参考になる内容があれば、牛津高校でも取り組むことも可能ではないかと考えている。また、そのような事例（他校の良い取り組みを取り入れた事例）があれば、学校魅力強化委員会の場でも紹介して欲しい。

○学校独自で行っている学校評価アンケートの「牛津高校に来て（行かせて）よかったと思う」という項目について、保護者からの評価は高いが、生徒の評価で否定的な意見の生徒が少ないながらもいる。否定的な意見の生徒に対してさらに踏み込んだ「どうしてそのように思ったのか」といった質問を行うことで、新しく入学してくる生徒の参考資料となり、今後の生徒募集にもつながるのではないかと考える。

○次年度の取り組みとして、新たな依頼も来ているとのことなので、今後のご活躍を期待する。ただ、取り組みが増えると生徒さんや先生方の負担が増加する事も考えられるので、無理のない範囲で活躍頂ければと考える。

○今後、魅力化コーディネーターとの連携が行われると考えられるので、今後の取り組みにも期待している。